



社会福祉法人 吉備路の会

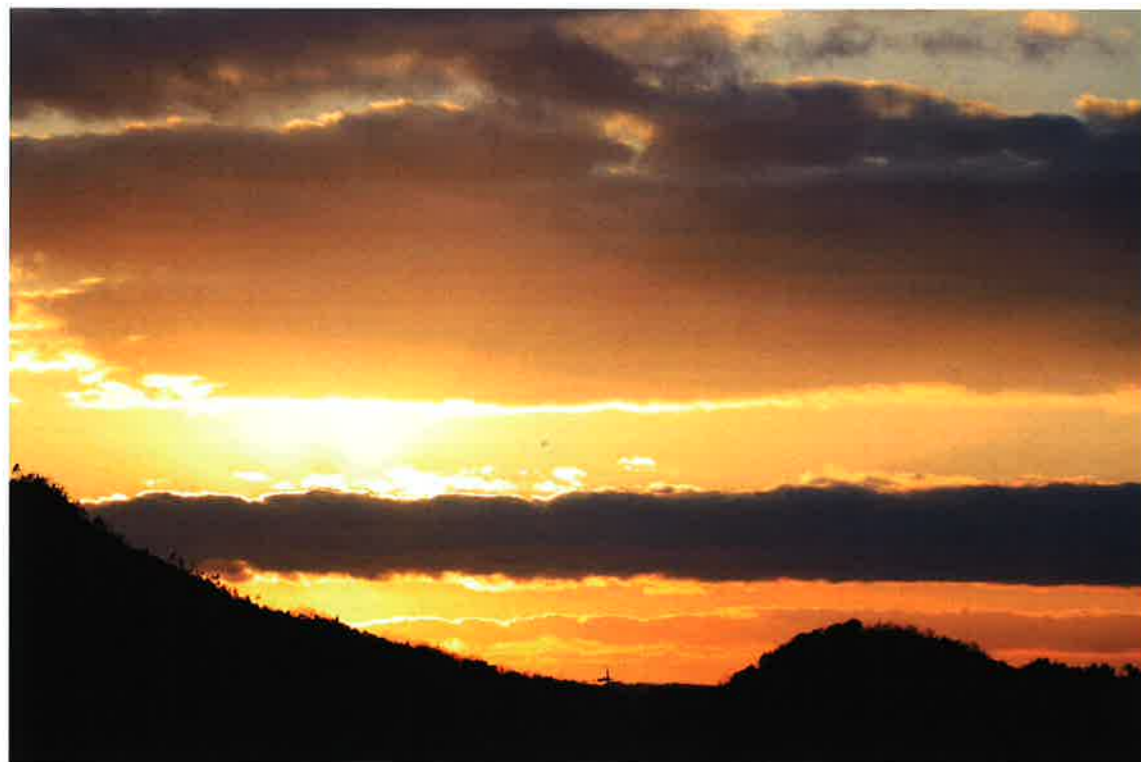
# 吉備路学園

第52号

令和2年1月31日 発行



発行  
 社会福祉法人 吉備路の会  
 吉備路学園  
 〒719-1155  
 岡山県総社市小寺1553番1  
 TEL(0866)92-6580  
<http://kibijigakuen.ecgo.jp>



吉備路の夕日

自己選択・自己決定という言葉は、現代では広く知られるようになってきたと思います。しかし、その意味となると曖昧になってくる場合があります。

多く職員研修などの実践発表で出されるのが、「選択メニューを増やすこと」で、自己選択・自己決定の幅が広がったなどの話があります。これらは、具体的な事柄について「選ぶ」「決める」ということを、本人がどれだけできたかを問題にしているように思います。そのため、いわゆる障害の重い人たちに對して、自己選択・自己決定は困難ということになってしまふようでもあります。また、「選ぶ」「決める」ということをたてまえるに「尊重」するために、その結果に對する対応で肥満の人の食事制限に對する拒否(食事制限をお願ひしても受け入れてくれない)、作業・活動への参加の拒否などに戸惑うことがしばしばあるようです。ここで動揺いをされるのが、現在の状態だけを見て、本人が好きでしていること(＝自分で決めたこと)だからと放置することです。これは、自己決定の尊重とは言えないように思います。例えば、(食事制限、作業への参加拒否)それぞれに理由がある場合が多いようでもあります。また、日々の生活に希望が持てないために過食になる場合もあります。作業グループでの人間関係がストレスとなり拒否をする場合もあります。「問題」に對して、利用者との「関係性」を基本に、本人の気持ちを聞く、話をする、要望に應じる、働きかけをする。これらの日常的な交流によって得られる関係性が本人の率直な自己表現を受け止めていく前提になるように思います。また、その人の障害や状態について理解したうえで、具体的なコミュニケーションの方法を工夫することも必要であると思います。

「自己選択・自己決定」は、どんなに障害が重く、具体的なコミュニケーションや意思表現が困難であっても、常にその人の意思を問う働きかけを行い、その人の状態や反応の中で「意思」を受け止める「関係性」を保障することが、即ち「自己選択・自己決定」を支えることではないでしょうか。

基本的なことは、先に述べた「人として」、「個人として」の理解と尊重だと言えます。

## 理解と尊重

理事長 小原章弘

## 交流祭を振り返って

支援員 牧野 隆久

「地域の皆様とのふれあいを大切に」というテーマのもと、今年度の交流祭を行いました。昨年に続いて台風接近の影響で、直前になって会場は総社北分館へ変更となりました。地域の皆様、イベント関係の方々、ボランティアさん、職員の方々に多くの協力をお願いして無事に開催することができ、感謝の思いでいっぱいです。

好評であった備中神楽・総社社中様には今年度もお越しいただきました。西日本豪雨からの復興、穏やかな雪りしへの願いを込めて、「八岐大蛇」をはじめ、たくさんのお演目をご披露いただきました。利用者さんにもご来場者様も大いに楽しんでいただけたと思います。

また、恒例であったバザーと大抽選会を再開し、地域の皆様にはたいへん喜んでいただきました。

会場がコンパクトになったことでさまざまな意見をいただきました。少し手狭であった、一方で、お祭りの規模的にはちょうどよかった、などです。来年度はこれらの意見を活かし、吉備路学園と地域の皆様との接点となる、より楽しんでいただける交流祭を目指していきたいと思っております。

## 吉備路学園 自治会活動



●交流祭●



●日帰り旅行(神戸)●



●日帰り旅行(鳥取)●



●一泊旅行(京都)●



●ファイヤーセービング大会●



●日帰り旅行(新見)●

## 親子旅行を振り返って

支援員 廣木 聡

昨年度に引き続き、旅行係をさせて頂きました。思い出に残り、楽しかったと言ってもらえる旅行にしたい。そんな気持ちでスタートしました。

鳥取、神戸、県内、京都泊と、利用者さんのニーズが叶えられるよう、それぞれプランを調整し、準備を進めて参りましたが、やはり重要になってくるのが高齢化の問題です。県内日帰りを希望される方が多くおられたのは、まさに高齢化を象徴しているように思います。

高齢の利用者さんにとって、食事の摂取量や提供方法、移動距離、トイレの間隔や、低重心の車両、当日の体調を加味した上で、車椅子の手配など、配慮しなければならぬことが山積みでした。思い当たる準備はしていても、旅行中にはトラブルが発生し、迷惑をおかけした点が多々ありました。

親子旅行を通じて、今は元気が過剰にされている利用者さんにも、後々は高齢になっていくことを考える「今」だからこそできる「今」、「今」のうちにできることを、支援していかねければならないと感じました。

## 編集後記

皆様明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願い申し上げます。

今年度も、令和二年は東京オリンピックが開催されます。個人的にマラソンやハイク、登山に興味があり、特にハイクは金メダルを期待されているので、私も楽しみです。

本年も職員一丸となってより良い施設を目指して頑張りますのでよろしくお願い申し上げます。





言葉は猫を飼っている名前も書いています。二十年前に飼いだした七匹の猫も今はもう二匹になってしましました。こんな愛猫家の言葉ではあるが、数年前から近所の猫の糞に困り果てている。近所の方が野良猫に餌を与え続け、数十匹に増えた野良猫が、言葉の家や裏の畑にもれなく糞というお土産を落としていくのだ。その後、言葉と近所の猫のし烈な戦いが始まった。糞対策としてまず言葉は猫の嫌いな臭いがする粒を撒く作戦に出た。しかし、これについては全く効果がなく、粒を撒いた場所が猫が平気な顔をして嘔吐していた。その間にも猫の攻撃は続き、耕した畑にまで攻撃を及ぼしていった。言葉は畑を守る為、時間と労力を掛けて畑全体にネットで囲いをしたがこれもあっけなくネットを突破された。結局、糞だらけになった畑を耕していくのを断念した。その後愛車のボンネットで厚層をされる猫に負け続けた。ただ、最近はその猫と戦っていない。これ以上猫に対して余計なストレスを貯め、猫を嫌いになるのが嫌になったからだ。なぜなら言葉は猫だからである。そして猫が好きなのだから。しかし、これはお土産を防ぐのをあきらめたわけではなく、子供のうに腹を立てて猫を追いかけのをやめたのである。今はお土産から家を守りつつも愛情を持って相手を受け入れていく。だって、残りの人生を立てるより、楽しくやっていたいからである。なぜなら、言葉はアランのつぶやきなのだ。

アランのつぶやき

グループホーム井手 管理者 村上 雅昭

ファイヤーセービング大会

支援員 森本 結希

今回、消火器による消火技術、心肺蘇生とAEDを用いた救命技術を競う総社ファイヤー・セービング大会に工藤さんと共に参加させて頂きました。上手く出来るかな不安を抱えながらも三回の事前練習に参加し、実際に消防士の方に指導して頂きました。一回目の練習では競技内容の一連の流れを覚えるところから始まり、十月に入っているところから始まり、十一月に入っているところから始まり、十二月に入っているところから始まり、今年度の練習でしたが、大会に向けて生懸命頑張りました。その後も練習を重ねていき、三回目の練習では大会本番に備え何度か連日の流れを繰り返して、いかに早く正確に出来るかを意識して取り組みました。最後にはベストタイムを更新し、良い形で本番最後の練習を締めくくることができました。本番当日、他のチームも沢山集まっています。競技前からとても緊張していました。開会式が終わわり、いよいよ競技が始まりました。自分達の番が近づくと緊張は増えはじめていきましたが、利用者の方も何か応援に駆けつけて下さり、とても励みになりました。自分達の番が来て競技が始まりました。ただひたすら練習通りに競技に取り組みました。反省点もありましたが、競技が終わりました。取組も良かったと思います。緊張も取れ、とてもホッとしました。全チームの競技が終わると、開会式に参加しました。いよいよ順位発表。結果は優勝。まさか優勝出来るとは思っていませんでした。とても嬉しかったです。練習の成果が報われたのだなと実感できました。初めは不安だらけでしたが良い結果を残せることが出来た良かったです。今回の総社ファイヤー・セービング大会で学んだ事をいよいよ時に活かしていきたいです。もし、火災現場やAEDを使用する場面に居合わせた時には自分が率先して消火活動、心肺蘇生に取り組みたいと思います。

寄付・寄贈・ボランティア協力

- 令和元年四月一日、 令和元年十一月三十日、 《敬称略・順不同》 《寄付》 薬師寺主明 三備石油(株) 総社市手をつなぐ育成会 藤井高志(株) 山陽フードサービス(株) 三協(株) 福井厨房(株) 本多 横溝青果(株) 唐川泰五郎 《寄贈》 吉備路学園家族会 《ボランティア》 ヘアユニットリリー 畑中麻里 山中芽依 松川運 《新任職員紹介》 令和元年四月一日付 支援員 森本 結希 令和元年八月十九日付 支援員 工藤 未妃 令和元年十月一日付 支援員 福永 未来 令和元年五月二日付 支援員 板谷 由美子 令和元年五月三十一日付 支援員 二木 和 令和元年六月三十日付 支援員 山本 剛文 令和元年八月三十一日付 支援員 有本 深雪 令和元年九月三十日付 支援員 小野 祐喜子 支援員 前田 早苗 支援員 郷野 早苗 支援員 前田 婦美子

Table with financial data including sections for '資金収支内訳表', '事業活動内訳表', and '貸借対照表'. It contains multiple columns for different categories and sub-categories, with numerical values and percentages.

Table titled '資金収支内訳表' showing financial details for the period from April 1, Heisei 30, to March 31, Heisei 31. It includes columns for '勘定科目', '吉備路学園(日中一時支援)', '合計', '内部取引消去', and '事業区分合計'.

Table titled '事業活動内訳表' showing operational details for the same period as the previous table. It includes columns for '勘定科目', '吉備路学園(日中一時支援)', '合計', '内部取引消去', and '事業区分合計'.

Table titled '貸借対照表' showing the balance sheet for the period from April 1, Heisei 30, to March 31, Heisei 31. It includes columns for '資産の部' and '負債の部', with sub-columns for '当年度末' and '前年度末'.

